

れんめい、和歌山

平成 23 年度日本看護連盟通常総会が
盛会のうちに開催

第 38 号

発行所
和歌山県看護連盟
和歌山市西浜 1014-27
看護研修センター内
電話 073-446-5189
FAX 073-446-5205

発行責任者

谷 眞子

印刷所 野田印刷株式会社



平成 23 年度和歌山県看護連盟通常総会にあたり

和歌山県看護連盟 会長 谷 眞子



いよいよ本格的な夏の季節を迎え、ここに、平成 23 年度通常総会を開催することになりました。まず、冒頭に東日本大震災でお亡くなりになりました方々へ哀悼の意を表し、被災された方に心よりお見舞い申し上げます。会員の皆さまには、義援金等ご支援をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年夏の参議院選挙では、皆さまのご支援を頂まして高階恵美子議員を和歌山県において自由民主党比例一位で当選させることができました。これは、私たち看護職の代表を国政に送りたいという思いと看護に対す

る県民の期待が一つになった結果であったかと考えます。高階恵美子議員には、総会で特別講演をしていただきませんが、あべ俊子議員と共に看護問題小委員会やこの度の災害で自民党の災害対策本部のメンバーとして復興・復旧にあたるなど大活躍されております。

今、超高齢化が進むなかで県民が求める看護を提供し継続していくために、看護職の確保が喫緊の課題です。平成 22 年度からの新人看護職員研修制度やワークライフバランス等離職防止策が進められているところです。「ベッドサイドから政治を変える」のスローガンを掲げ、看護職が働き続けられる環境づくりのために看護の力が発揮できるよう組織の強化をめざして頑張りたいと思っております。更なるご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。



ご あ い さ つ



日本看護連盟 会長
清水 嘉与子

マグニチュード 9 の大地震と巨大津波、加えて福島第一原発の事故と風評被害で東日本は壊滅的被害を受けました。あの被災地の凄まじい映像は日本中の人々を震え上がらせたに違いありません。そんな中で自ら被災しながらも医療現場で昼夜に分かたず必死で患者さんを守りぬいた看護の仲間たちの姿、そして早速被災地へ救援に駆けつけた全国の仲間たちの姿は、看護という専門職業の底力を大きく社会に示してくれました。今、国内だけでなく、世界の国々から支援の輪が広がっています。まだまだ復興の道は厳しいと思いますが、看護職としてもしっかりと役割を果たしていきましょう。

それにしてもこうした非常時に、政治のトップリーダーの責任が如何に大きいのか、国民みんなが実感したことと思います。看護職の政治力を高めるために、今年も日本看護連盟は支部を中心とした活躍を展開して参ります。どうぞご協力下さいますように。



衆議院議員
あべ 俊子

「東日本大震災」で被災された皆様、犠牲になられた皆様に、心からのお見舞いと哀悼の誠を捧げます。また被災地の内外を問わず、全国の看護職から多大なるご支援を賜り、心から敬意と感謝を申し上げます。

被災直後は私も党内の緊急災害対策本部の医療班として、被災地からのニーズに沿った物資や医薬品等の手配や運搬に微力ながら携わらせていただきました。行政は混乱し、被災地の情報が正確に把握できない中、私の大きな力となったのが、全国の看護職からよせられた被災地域の詳細な情報でした。「全国に仲間がいる」、私はあらためて看護職のネットワークの大きさを感じました。

被災地をはじめ日本がこの先、着実に復興していくには、いつも献身的で努力を惜しまない看護職の皆さんにこそ日本が元気になる鍵がある！と、私は大いに期待をしております。どうかみんなで力を合わせて、この国難を乗り越えていけるよう共に頑張ってもらいましょう！ がんばろう日本、必ず復興します！



参議院議員
たかがい 恵美子

東日本大地震の被災地の救援・復興のため、多くの看護職の皆様が被災地において活動頂いていることに、心より敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

被災地では今なお苦難の毎日が続いており、生活再建に向けた道筋がなかなか見えずに困窮しています。しかし、このような状況の中で目の前の被災者一人一人に心を通わせ、温かく支え、最期まで守り抜こうとする看護職の姿がありました。看護職だからこそ果たせる役割があり、今後の復興に向けて、医療・保健・福祉・介護の様々な場面で看護職の力が必要とされます。諦めない、投げ出さない、私たちの故郷は、私たちの手で取り戻すのです。そして、次世代の社会保障の姿を復興のビジョンにしっかりと描いていく。そのためにも、一人でも多くの方の知恵を借り、技術を借り、温かい思いやりの絆を紡いでいこうではありませんか。一日も早く平穏な日常を取り戻せますよう、強く念じつつ、私も誠心誠意、微力を投じてまいる決意であります。



平成 23 年度日本看護連盟通常総会盛大に開催！

平成 23 年 6 月 14 日、日本看護連盟の平成 23 年度通常総会が東京プリンスホテルで、1,615 人の参加のもと盛大に開催されました。

清水会長の挨拶に続いて日本看護協会坂本すが会長が大きな拍手で迎えられ「協会と連盟が一丸となって、国民のため看護のために頑張りましょう。」

と挨拶されました。

来賓の挨拶に続き、各議案について審議され賛成多数をもって可決されました。

審議終了後、あべ俊子衆議院議員、たかがい恵美子参議院議員が国政報告を行いました。



平成 23 年度 和歌山県看護連盟

通常総会 プログラム

月日：平成 23 年 7 月 2 日 (土)
場所：勤労福祉会館 プラザホール



12:20	開場	
12:55	オリエンテーション	
13:00	開会	
	物故会員への黙祷	
	会長挨拶	
	来賓祝辞	来賓紹介 祝電披露
14:00	特別講演	テーマ 「看護と政治～看護問題を国政に～」 講師 参議院議員 高階 恵美子 先生
14:50	議長団選出	
	報告事項	1. 平成 22 年度通常総会報告 2. 平成 22 年度日本看護連盟主催会議報告 3. 平成 22 年度県役員・関する委員会合同会議報告 4. 平成 22 年度研修会報告 5. 平成 23 年度日本看護連盟通常総会代議員報告
	審議事項	第一号議案 平成 22 年度活動報告 (案) 第二号議案 平成 22 年度決算報告 (案) 第三号議案 平成 22 年度会計監査報告 第四号議案 平成 23 年度スローガン (案) 第五号議案 平成 23 年度活動計画 (案) 第六号議案 平成 23 年度予算 (案) 第七号議案 第 23 回参議院議員選挙対策 第八号議案 役員選出
	新・旧役員挨拶	
	綱領宣言	
	連盟の歌斉唱	
16:30	閉会	

第四号議案

和歌山県看護連盟 平成 23 年度スローガン (案)

「ベッドサイドから政治を変える!!」

今年度のスローガン (案) は、「ベッドサイドから政治を変える!」と掲げました。このスローガンは、今年度で 6 年目を迎えますが継続することになりました。

ベッドサイドとは、日々私たちの活動の場で、施設や地域で対象者がいるところが看護連盟会員の働く場所で、看護現場を意味しています。

第五号議案

平成 23 年度活動計画 (案)

重点目標 組織活動を充実させる

重点活動

1. 支部中心の活動を強化させる。
2. 自覚に基づき活動する会員を増やす。
3. 若手会員・無関心看護職の政治参加を促進する。

項目	目 標	活 動 内 容	推進機関		活動推進方法
			県	支部	
政治力の強化	1. 看護政策に関する議論を活発に行える環境をつくる	① 会員への情報提供を効果的に行う。 ② 「現場の声」を国会・地方議員に積極的に伝える。 ③ 看護現場の課題を議員と共有する。 ④ 看護現場の課題を社会に伝える。 ⑤ 地方議員を支援する。 ⑥ ローカルマニフェストに看護現場の意見を反映	○	○	・本部の看護政策に関する情報を集会や施設訪問等を利用して発信する。 ・機関誌「れんめい和歌山」の充実 ・「現場の声」の収集・分析し政策に反映 ・看護問題に関心が高い国・地方議員との勉強会や意見交換会を開催 ・「看護を考える会」県議会議員との交流 ・看護を支援する国会・地方議員や地域住民との日常関係を強化する。 ・後援会活動 ・自民党県連政務調査会へ看護現場の課題を伝える。
	2. 看護職の国会議員を増やす	① 第 23 回参議院議員選挙に向けた活動を行う。 ② 次期衆議院選挙に向けた体制を整備する。	○	○	・25 万票以上獲得するための支部目標の設定 ・支部別会議 12/5 (月) ・都道府県リーダー研修 12/6 (火) ・後援会活動、選挙応援 ・岡山 3 区の応援

項目	目 標	活 動 内 容	推進機関		活動推進方法
			県	支部	
	3. 国会・地方議会への影響力を強める	① 地元選出国會議員・地方議員との勉強会を実施する。 ② 地元選出国會議員・地方議員の主催する会合へ出席	○	○	・ 地方議員を講師に勉強会の開催 ・ 議員の主催する会合に出席 ・ 看護を支援する自民党国會議員・地方議員への選挙応援
強力な集票力を持つ組織	1. 支部組織の充実	① 支部組織を整え、充実・強化をはかる。 ② 支部の主体的活動の促進 ③ 支部役員・連絡員の意識強化 ④ 目標達成を目指した支部活動 ⑤ 県看護協会地区支部との連携強化	○	○	・ 本部モデルに基づき支部組織を確立する。 ・ 施設内連絡員・支部委員のネットワークの構築 ・ 会議を定例化し、情報を共有する。 ・ 都道府県支部別会議 12/5 (月) ・ 目標値の設定と目標管理 ・ 連絡員セミナー 12/6 (火) ・ 目標達成を目指した日常活動 ・ 支部施設代表者会議の開催 年2回 ・ 協会・連盟支部合同研修会開催
	2. 会員の獲得と定着 (目標：県看護協会対比 37%)	① 連盟未加入者に対する入会促進 ② 新採用者へ働きかけ ③ 退職者へ継続加入の働きかけ ④ 賛助会員の加入を促進 ⑤ 学生会員の加入を促進	○	○	・ 協会役員・委員の未加入者へ加入要請 ・ 協会加入施設の看護管理者に協会と連盟について説明、連盟加入を呼びかける。(看護協会全施設訪問) ・ 新採用者へ説明加入を呼びかける。入会案内・DVDの活用・アンフィニ雑誌 ・ 個人会員の会に参加を促進する。 ・ 看護に協力して頂く議員、知人、親戚、OBに働きかける。 ・ 会員が身近なところで働きかける。
	3. 看護管理者の意識を高める	① 看護管理者トップセミナーの開催(参加型) ② 看護管理者訪問	○	○	・ 看護部長対象ワークショップ ・ 看護連盟本部の看護政策と活動の情報提供
	4. 若手会員の育成	① 青年部の組織化の推進 ② 青年部活動の促進 ③ ポリナビワークショップ in 和歌山 開催	○	○	・ 青年部主催研修会開催(非会員も参加可) ・ 青年部委員会開催定例化する。 ・ 若手会員の交流会 ・ 若手会員間で情報の交換
	5. 学生会員の育成	① 学生会員が看護政策について理解を深める。	○	○	・ アンフィニ等で情報提供 ・ ポリナビワークショップへの参加を呼びかける。 ・ 看護学校訪問

項目	目 標	活 動 内 容	推進機関		活動推進方法
			県	支部	
強力な集票力を持つ組織	6. 自覚に基づき活動する会員を増やす	① 連絡員の自主性促進のためのセミナー ② 研修の体系化 ・ 会員の未受講者のみ ・ 新入会者研修を含める。 ・ 基礎研修修了者対象 ・ 連絡員の自主性促進 ・ 支部活動を理解し活動できる。 ・ 看護管理者の意識を高める ・ 全会員対象に政治意識の高揚	○	○	・ 本部・県共催 施設内連絡員対象のセミナーの開催 12/6 (火) ・ 基礎研修 ・ 支部・施設で新入会員へのオリエンテーションと基礎研修を実施 ・ 続基礎研修講師養成と実施 8/27 (土) ・ 連絡員セミナー 12/6 (火) ・ 新支部長研修 ・ 看護部長ワークショップ(看護協会と共催) ・ 看護教育者・看護管理者セミナー ・ 一般会員研修 ・ OB 会員懇親会 ・ 男性看護師対象研修 10/1 (土) ・ 協会地区支部・看護連盟合同研修 ・ 通常総会特別講演 高階恵美子先生 テーマ 「看護と政治～看護問題を国政に」 7/2 (土)
組織の適正な運営管理	7. 活発な情報流通	① 「現場の声」を政策提言に反映 ② 「れんめい和歌山」年3回発刊 ③ 会員が連盟活動の理解を深め、活発な活動を促進するために情報提供を行う。 ④ 政治・選挙に対する理解を深め、行動する。 ⑤ 看護職員員の活動の周知	○	○	・ 新「現場の声」研修会で集める。提案された課題について検討を深め政策提言につなげる。 ・ 会員・賛助会員への情報提供(機関、Weekly 配布) ・ メールマガジンの活用 月2回 ・ アンフィニ機関誌年3回発刊雑誌個人送り ・ ハンドブック、クリアホルダー公務員活動チラシを施設訪問・研修時に活用 ・ DVD、パワーポイントで継続学習する。 ・ あべ俊子・たかかい恵美子議員の国政報告の活用。
1. 施設・支部・県協会と本部と連携した組織を推進する	① 活発な定例会議を通して本部・都道府県・支部の連携を強化する	② 協会との連携を強化し、意思疎通を図る ③ 本部・都道府県・支部間の日常の意見交換を通して意思疎通を図る。	○	○	・ 本部・近畿ブロック・県会議 本部総会 6/14 (火) 全国会長会 (4/15・6/14・1/26/・27) 県支部別会議 1回 12/5(月) ブロック別会長会議 1回 2/24(金) ・ 県・支部の会議 県役員・関する委員会 月1回 支部長会 年2回 支部委員会 2～3ヶ月に1回 ・ 連盟会議に協会役員出席 ・ 連盟政策委員会で要望事項の検討 ・ 本部・県・支部の日常の連携を強化 本部役員講師依頼

項目	目 標	活 動 内 容	推進機関		活動推進方法
			県	支部	
組織の適正な運営管理	2. 事務局の運営を適正に行う	① 会員を適正に管理する。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国共通の会員管理システム ① 会員登録 ② 会員移動登録 ③ 研修会参加者入力 ・ 会計監査実施 2 回 上半期 (11 月)・決算期 (4 月) ・ 三役会議基本的に役員・関する委員 合同会議前後の月曜日開催 ・ 業務日誌で申し送りを活用
		② 財政を適正に管理する。	○		
		③ 事務局運営の円滑化を図る	○		
会員の福祉	1. 慶弔への対応	規約に基づき慶弔を行う。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ 受賞者への祝い・物故会員への弔意・災害見舞い ・ 本部との連携で速やかに問題解決する
	2. 諸問題への支援	専門家と相談して対応	○		



「和歌山県の看護行政についての研修」に参加して

紀南こころの医療センター 田畑 博子

5月21日講師として、和歌山県福祉保健部看護班 芝崎千鶴さんを迎えて研修会が開催されました。「和歌山県の看護行政について」というテーマで、これからの国の流れや県の看護行政を軸に話されました。

国の流れとしては、「新人看護職員研修・新人看護職員研修事業・看護職員確保対策・経済連携協定に基づく外国人看護師候補者の受け入れ状況やチーム医療の推進について」述べられました。平成22年から看護職員の臨床研修が努力義務となったことで、新人看護職員研修ガイドラインに沿った研修など他の補助事業の活用を推進されていくということです。

県の看護行政では、看護職員従事者数は毎年増加が見られ、平成20年の状況は12,486人です。ただ、平成27年の需要見通としては14,356.6人の為、不足数

256.2人となります。

安定的な人数の確保と資質の向上を図るためには、「養成力の確保・離職防止・就業促進・資質向上」の4本柱が上げられています。学校を卒業して和歌山県で働きたいと思えるように、魅力ある職場環境作りが必要と感じました。現在、平成22年度ナースバンク登録者が249人内就業状況105人という状況です。一人ひとりの状況に合った情報を提供しながら、復帰支援を手助けしていけるよう進めていくことも大切です。

現場の声を大切にして、いかに取り組んでいけるかが今後の課題となっています。広く関係者が、連携・協力し看護職員の確保対策を講じていくことが、ますます重要であると再確認しました。



連盟からのお知らせ



続 基礎研修

開催日 平成 23 年 8 月 27 日 (土)
 場所 プラザホープ
 対象 基礎研修修了者
 講師 日本看護連盟常任幹事
 竹澤 良子先生

おめでとうございます!

第 39 回医療功労賞受賞

(読売新聞社主催)



片山 清子様

平成 23 年度 連盟会員 募集中!

皆様の入会をお待ちしています!

〈年会費〉

日本看護連盟会費 5,000 円
 和歌山県看護連盟会費 3,000 円
 計 8,000 円



編集 後記

この度、東日本大震災の被災者の皆様には
 心よりお見舞い申し上げます。
 7月2日には、和歌山県看護連盟通常総会が
 開催されます。
 たくさんのご参加をお待ちしております。



広報委員 小林 津本 井堰 原

〜〜 東洋羽毛のサービス 〜〜

- リフォーム …… 古くなったお布団を、新品同様にリフレッシュします。
 羽毛は、きれいに洗浄して、新しい生地詰め替えます。
 また、使わなくなったダブルを、シングル4枚などに、作り替える事も出来ます。
- 補修・お直し …… 穴が空いてしまったり、破れてしまった時は、補修します。
- クリーニング …… 大きなお布団を、クリーニング店まで持って行く必要はありません。宅急便で、ご自宅まで取りに伺います。
- 特別注文 …… 製造メーカーなので、ご希望のサイズの、お布団を作れます

※お布団の事なら、何でもご相談下さい。

東洋羽毛工業(株)大阪営業所

和歌山店 〒640-8329 和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F フリーダイヤル 0120-32-7766
 ※ 阪和営業所から和歌山店に変更になりました
 大阪店 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-8-13 フリーダイヤル 0120-88-2104



ホームページアドレス
<http://www.toyoumo.co.jp>

